

平成 13 年度通信関連業実態調査報告書正誤表

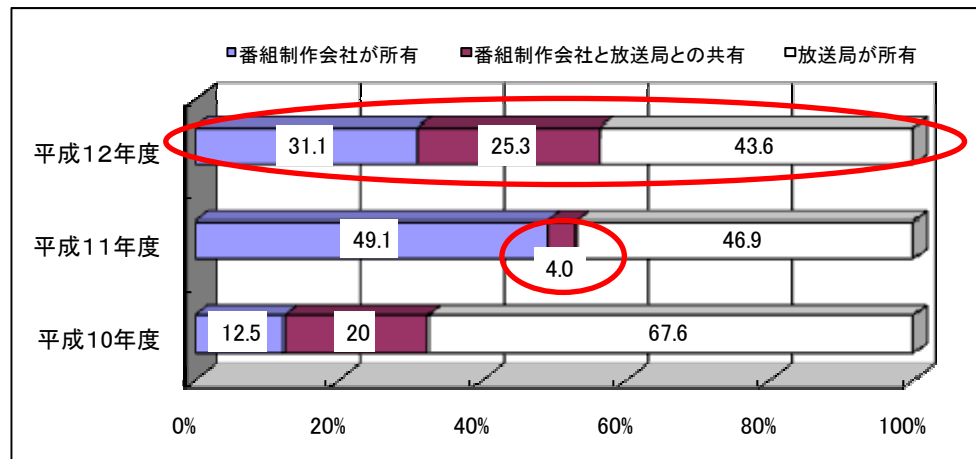
P. 13

(正)

- ◆テレビ番組の二次利用権では、「番組制作会社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「番組制作会社と放送局との共有」が大きく増加している。

図 I-5-3：二次利用権の所在

「単位：構成比%」H12 n=188、H11 n=74、H10 n=135

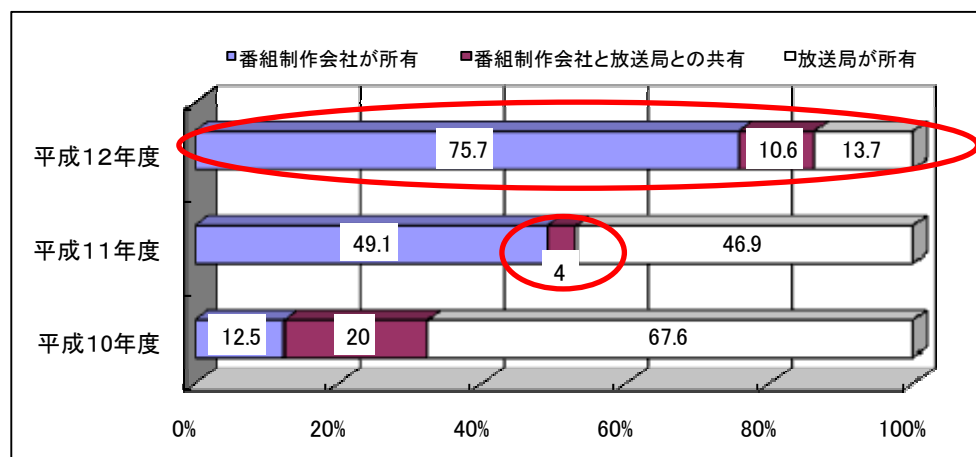


(誤)

- ◆テレビ番組の二次利用権では、「放送局が所有」が大きく減少し、「貴社が所有」が 75.7%と最も多く、「貴社と放送局との共有」と合わせて 86.3%を占めている。

図 I-5-3：二次利用権の所在

「単位：構成比%」H12 n=188、H11 n=74、H10 n=135



(正)

(2) 著作権の所在

平成12年度に制作したテレビ放送番組（CMを除く）制作の契約における著作権（著作財産権）の所在をみると、放送権では「放送局が所有」が68.1%で最も多く、次いで「貴社が所有」の16.6%の順になっている。一方、二次利用権では「放送局が所有」が43.6%で一番多く、次いで「貴社が所有」が31.1%の順になっている。

前回調査との対比では、放送権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が増加している。また、二次利用権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が大きく増加している。

表 I-5-(2)：著作権の所在状況

「単位：本、%」今回調査 n=188、前回調査 n=74

著作権所有区分	放送権	構成比（前回）	二次利用権	構成比（前回）
貴社が所有	2,676	16.6(23.7)	1,888	31.1(49.1)
貴社と放送局との共有	2,475	15.3(5.1)	1,540	25.3(4.0)
放送局が所有 { 2年未満 2年以上 無制限 (期限明記なし)	1,290	8.0(9.4)	296	4.9(3.4)
	2,279	14.1(4.7)	595	9.8(4.3)
	7,412	45.9(57.0)	1,760	29.0(39.2)
	合計	68.1(71.1)	2,651	43.6(46.9)
合 計	16,132	100.0(100.0)	6,079	100.0(100.0)

(誤)

(2) 著作権の所在

平成12年度に制作したテレビ放送番組（CMを除く）制作の契約における著作権（著作財産権）の所在をみると、放送権では「放送局が所有」が68.1%で最も多く、次いで「貴社が所有」の16.6%の順になっている。一方、二次利用権では「貴社が所有」が75.7%で一番多く、次いで「放送局が所有」が13.7%の順になっている。

前回調査との対比では、放送権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が10.2%増加している。また、二次利用権では「放送局が所有」が35.9%減少し、「貴社が所有」が26.6%増加している。

表 I-5-(2)：著作権の所在状況

「単位：本、%」今回調査 n=188、前回調査 n=74

著作権所有区分	放送権	構成比（前回）	二次利用権	構成比（前回）
貴社が所有	2,676	16.6(23.7)	13,452	75.7(49.1)
貴社と放送局との共有	2,475	15.3(5.1)	1,888	10.6(4.0)
放送局が所有 { 2年未満 2年以上 無制限 (期限明記なし)	1,290	8.0(9.4)	1,540	8.7(3.4)
	2,279	14.1(4.7)	296	1.7(4.3)
	7,412	45.9(57.0)	595	3.3(39.2)
	合計	68.1(71.1)	2,431	13.7(46.9)
合 計	16,132	100.0(100.0)	17,771	100.0(100.0)

(正)

ア 会社全体の売上高

平成12年度と平成13年度の売上高の対比をみると、ごくわずかであるが0.4%の増加を見込んでいる。一方、前回調査との対比をみると、1社当たりの平均売上高実績で64.5%も減少している。

(誤)

ア 会社全体の売上高

平成12年度と平成13年度の売上高の対比をみると、ごくわずかであるが0.4%の増加を見込んでいる。一方、前回調査との対比をみると、1社当たりの平均売上高実績で65.5%も減少している。